

100枚の絵をつないでつくるじゃばら絵本 絵本作家の谷口智則氏による絵本講座 3年生100人とともに絵本づくり 11月30日(木)16:30- 学園前キャンパスで

帝塚山大学(学長:奥村由美子
所在地:奈良市帝塚山7-1-1)教育学部(学部長:杉村智子)は、11月30日(木)、絵本作家の谷口智則氏による絵本講座を開催。絵本づくりについてお話いただくと同時に、絵本づくりのワークショップを行います。



同講座では、学生100人がケント紙に描いた思い思いの絵をつなぎ合わせ、ひとつの大きなじゃばら絵本に仕上げるワークショップを行います。最初と最後の絵だけを谷口智則氏が準備し、学生が使用するケント紙には「つなげるポイント」となる印がつけられています。一見なんのつながりもないそれぞれの絵が、印を起点につながることによって、ひとつの壮大な物語が紡がれます。

本学教育学部では、地域や教育現場で絵本の読み聞かせを行うなど、絵本の魅力を伝える活動を積極的に推進しています。また、2023年4月からは「認定絵本土」の講座を開設し、読書活動をさらに発展させるとともに、子どもたちに適切な読書教育を実施できる人材の育成をめざしています。

谷口智則の絵本講座

日時:2023年11月30日(木) 16:30-18:00

場所:帝塚山大学学園前キャンパス18号館3F 18311教室

講師:谷口智則 氏 対象:教育学部3年生約100人

谷口智則氏 略歴

1978年生まれ。金沢美術工芸大学日本画専攻卒業。

2004年『サルくんとお月さま』で絵本作家としてデビュー後、フランスで絵本『CACHE CACHE』を始め数々の絵本を出版。その後イタリア、台湾、中国、カンボジアなど海外でも数々の絵本を出版し活動している。絵本以外にも、広告やパッケージデザイン、商業施設の空間プロデュースなど多方面で活躍中。主な絵本に『100にんのサンタクロース』『サルくんとバナナのゆうえんち』など。『くいしんぼうのクジラ』で第9回、『カメレオンのかきごおりや』で第12回ようちえん絵本大賞受賞。大阪府四条畷市のPR大使も務める。

貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をよろしくお願い申し上げます。

取材および
内容に関する
お問い合わせ

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimmu.tezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)